HOP, STEP, JUMP in 標津

萌える海と大地　さわやか交流郷

No.461／2005
広報しべつ

主な記事

◆小田桐町長退任あいさつ
◆8月6、7日は標津町民祭り「水・キラリ」

金澤町長が初登庁

標津町長選挙で初当選を果たした金澤 瑛町長(58歳)が6月24日、初登庁しました。同日、町職員を前にした就任のあいさつで金澤町長は、「標津町の新しいまちづくりの扉を皆さんとともに開いていきたい。職員の奮起、奮励を期待する」と力強く述べました。

小田桐町長 5期20年間 お疲れさまでした

退任にあたり、町職員から贈られた花束を手にする小田桐町長（六月二十三日）

町民の皆様への退任あいさつ

五期二十年間にわたり標津町長として、町政運営に尽力されてきた小田桐四郎町長が六月二十三日、任期満了により、退任されました。

退任にあたり、小田桐町長から町民の皆さんへのお礼のあいさつを紹介します。

＊　＊

昭和六十年、町長に就任させていただきましてから今日まで、五期二十年の長い間、皆様を始め住民の方々には、公私ともに特段のご指導・ご支援をいただきますとともに町政の推進に格別なるご理解・ご協力を賜りましたことに衷心より厚くお礼を申し上げます。

顧みますと在任中の世相は、就任当初のバブル最盛期に始まり、激動と言われた世紀を跨いで、だれもが明るい希望を抱いて迎えたはずの新世紀は地方自治体が否応なしに再編統合の危機に曝される自治体受難時代へと加速して参りました。

「時代の荒波に翻弄されるも円滑な町政の推進に努められたことに感謝」

その間、本町におきましては、皆様とともに樹立しました町づくり計画が、時代背景に恵まれ順調な進展を見ることができましたことは大きな喜びであります。

しかし時は今、地方自治制度も大きな変革の時代に入り、非常に厳しい町政運営を迫られる中で、本町の存亡を揺るがした合併問題も住民の総意をもって最良の判断が示されるなど、時代の荒波に翻弄されながらも円滑な町政の推進に努めることができましたのは、偏に皆様方のご支援・ご協力の賜と深く感謝を申し上げる次第であります。

いま本町は非常に厳しい自立の選択をし、未知なる試練への第一歩を歩み出しておりますが、幸いにして町民の皆さんは、向後に憂いなくこの難局と標津町の未来を託すに相応しい新しい時代のリーダーを選出されました。

町民の皆様の郷土を愛する熱い思いに深く敬意を表しますとともに、新町長のもと行政、議会、住民が一致団結して「萌える海と大地　さわやか交流郷　標津町」の建設に邁進されますことを強く望んで止まない次第であります。

今日まで寄せられましたご支援・ご協力に重ねて御礼を申し上げますとともに、私も退任後は一町民として標津町に骨を埋め、微力ながらも町の発展に尽くしてまいる所存でありますので、皆様におかれましては旧に倍するご交誼・ご厚情を賜らんことをお願い申し上げまして退任に当たってのお礼のごあいさつとさせていただきます。

平成十七年六月二十三日

標津町長　小田桐四郎

私の故郷（ふるさと）「標津」③

東京標津会

東京標津会会員の方々が故郷「標津」への想いを届けます。

▼今月は…

徳橋（とくはし）　隆（たかし）さん

【MEMO】東京都世田谷区在住。75歳。現在、(社)北沢法人会常任理事。東京都中高年勤労者福祉推進員。

「母なる私の故郷」

大正十二年四月、茶志骨の地に入植した父。その七年後の昭和五年に三男として自分が誕生以来、切っても切れない標津町との関係が七十五年も続いております。

茶志骨開基七十周年記念誌「静流」を再度読みながら、荒漠たる人跡未踏のこの原野を大自然の猛威と闘い、食糧も乏しい中開拓し、そして極楽浄土を築き上げた先人等に感謝と深甚なる敬意を表せざるを得ません。

そのお陰で私共は幼少より何の不自由もなく、開拓された原野を何もなかった様な気で走り廻って育って来た訳です。小学生当時は、童謡「ふるさと」の様に毎日遊んだものでした。

昭和十九年、標津の高等科に通い、同期では佐分利収君や若杉君ら大勢居り、忠類、伊茶仁方面からも通って来て、小学校とは違った賑やかさで楽しい思い出が沢山できました。高等科は自転車通学でしたので、秋は山ぶどう、こくわ等を暗くなるまで採り、怒られた事も度々ありました。

小学校に六年、麗しきかな桜の元で一年、翌昭和二十年二月旧制根室中学入学のため標津を離れ、以後六年間根室で寮生活を送り二十五年三月上京し、学校の休みのとき故郷へ帰る位いで、二十九年卒業後はそのまま東京生活に入り現在に至って居りますが、標津は私にとって母なのです。

故郷へ帰ると暖かく迎えてくれる人々、そして武佐山の姿、山、川、草木が笑顔で「良く来たね。ゆっくりしてゆきな」と、声を掛けてくれる。故郷とは、こんなに良いものかと心を打たれるのです。

故郷・標津には、直接何も出来ませんでしたが、東京標津会、根室管内ふるさと会連合会の設立、運営に協力して根室管内のふるさとの宣伝に携わりました。今後はもう高齢のため公職を引退し中小企業の指導も止めて、静かに余生を送りたいと思って居ります。今年九月か十月に観光団を連れて母なる私の故郷・標津を紹介したいと企画しております。

国民年金コーナー

もっと知ろうよ 国民年金のこと

●今月は、免除制度について「Q&A」でお知らせします。

Q 保険料を納めることができないのですが何か方法がありますか？

A 所得制限がありますが、申請をすることによって、免除または猶予する次の方法があります。

①全額免除…保険料の全部が免除。②半額免除…保険料の半分が免除。③若年者納付猶予…三十歳未満の本人、配偶者の保険料納付が猶予。

Q 免除または猶予すると二十五年、三百月の資格期間に含まれるの？

A 資格期間に含まれます。しかし、半額免除の場合、半分の保険料を納めないと未納扱いになり、資格期間には含まれませんので気をつけてください。

Q 免除または猶予すると、年金額はどうなるの？

A 将来年金を受け取るとき、全額免除の場合は国庫補助の二分の一、半額免除の場合も三分の一が年金額に反映されます。ただし、若年者納付猶予の場合は「0」です。

Q 免除または猶予を受けた期間、年金額に影響のない方法はあるの？

A 十年以内に納付する追納という方法があります。

Q 免除申請はいつしたらいいの？

A いつでも受け付けていますが、一年間が七月～六月までですので、昨年に引き続き免除を希望する方は、今月（七月）から受け付けます。

※所得に関係なく、雇用（失業）保険該当の場合は免除申請ができませんので、ご利用ください。

★国民年金に関する相談・お問い合わせは、福祉課(担当：杉本)まで。

今年も標津（ふるさと）が熱く燃える

標津町民祭り「水・キラリ」

標津町出身のプロ歌手
「フジモトタカコ」ライブ!!（6・7日）

フジモト　タカコさん

伸びやかで透明感ある歌声とすばらしいギター演奏が会場に響きわたる…

「歌の饗宴」（6日）出演歌手 紹介

岸　千恵子さん（青森県出身）

・ヒット曲「千恵っこよされ」

林　あさ美さん（青森県出身）

・デビュー曲「つんつん津軽」

「劇団キラリ」出演者紹介

▷加瀬夢子(標津小５年)▷白浜有希子(同)▷神内窓花(同)▷本村琴奈(同)▷神内彩花(同６年)▷大沼朋美(古多糠小１年)▷大沼美里(同３年)▷井上紗紀(同６年)▷大沼彩美(同)▷竹村美咲(同)

▶指導者＝熊谷田鶴、宇野美奈子　〈敬称略〉

第７代標太・津々にインタビュー

祭り本番に向けて…

樫木（かやき）　萌那（はるな）さん（標津農協勤務）

自分自身が祭りを大いに楽しみたい

樫木　皆さんから「いい祭りだった」と言われるように、頑張りたい。自分自身が祭りを楽しむことによって、回りの皆さんも楽しんでくれるはず。山車に乗るのが今から楽しみです。

分銅（ぶんどう）　渉（わたる）さん（標津漁協勤務）

歴代の標太に負けないように

分銅　期待と不安がありますが、歴代の標太に負けないように、祭りを盛り上げたい。年に一度の町民祭り。一人でも多くの皆さんが参加し、みんなで祭りを楽しみましょう。

あの感動から1年…

8月6日(土)・7日(日)は

今年で七年目を迎える「標津町民祭り　水・キラリ」が、八月六、七日の二日間にわたり盛大に開かれます。

今日ある標津町は、先人たちの努力により、すばらしい町が形成されています。このすばらしい標津らしい伝統や文化、豊かな自然はそれを育みながら、今ここに生きる私たちが子どもへと引き継いでいかなければなりません。

海や山の区別なく、町の産業、生活の源である自慢の「水」に託して、今年もふるさと標津の祭りが開かれます。

年に一度のこの祭りの主役は、町民の皆さんです。町民一人ひとりの手でこの祭りを盛り上げ、大いに楽しもうではありませんか―。

「曳山(ひきやま)巡行」にみんなで参加しよう！

五基の山車と共に踊り手、曳き手、お囃子手が一体となって運行する「曳山巡行」は、八月六日の夜(七時三十分～)に行われます。あなたも曳山巡行に参加してみませんか―。

参加を希望される方は、それぞれの運営団体へお申し込みください。多くの参加者をお待ちしています。

●申込み先

▽「伝承の山車」…町内会連絡協議会(☎82―2424)

▽「翔酪の山車」…農協(☎85―2121)

▽「大漁の山車」…漁協(☎82―2141)

▽「繁盛の山車」…商工会(☎82―2333)

▽「ゆめの山車」…キラリ子どもの会(☎82―3110・教育委員会内または、各学校)

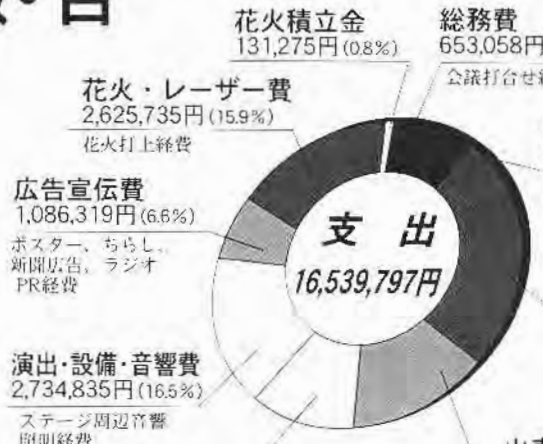
前売り券発売中！

▽「ビール飲み放題」(六日／午後五時～九時)＝二千三百円▽「お茶券(和菓子付き)」(七日／午前十時～)＝三百円▽「デイリーフェスティバル牛肉大食会」(七日／午前十時～)＝千二百円

☆　★　☆

▼祭りのお問い合わせは、実行委員会総括事務局・役場商工観光課(☎82―2131)まで。

平成16年度「水・キラリ」決・算・報・告



※（　）は全体に占める割合

町の助成財源として、「萌える海と大地さわやか交流郷創生基金」の積立金が使われています。これは、過去に国から「活力と個性のあるまちづくり」に使用する分として地方交付税により交付を受けたお金を、これら特定の目的のために積立ててきたものです。

収支差引残139,487円は翌年度へ繰越ます。

町民みんなで植えました ヤチダモの苗木1200本

町植樹祭が六月十日、サーモンパーク近くの標津川の河畔で行われました。町と根釧東部森林管理署、町森林組合の主催。標津中と川北中の生徒をはじめ、町民約二百八十人が参加。スコップやくわを手に、四十㌢ほどのヤチダモの苗木千二百本を一本一本丁寧に植えました。

ヤチダモは五十年ほどで三十㍍にも育つそうで、参加者は「早く大きく育ってほしいね」などと話し、額の汗をぬぐっていました。

消防団員が桜の苗木40本植樹

六月一日、標津消防署庁舎の周辺整備の一環として、標津消防団の団員と署員合わせて二十人が、同庁舎横の道路沿いにエゾヤマザクラの苗木四十本を植えました。

「自分たちの手で庁舎の周辺整備をしよう」と団員の呼び掛けがきっかけで、副団長で造園業を営む古瀬幹士さんが苗木を提供しました。

十年ほどで立派な桜並木が見らそうで、団員は「花を見るのが待ち遠しい。町民の方にも花を楽しんでもらいたい」と話しています。

「楽しいね イモ植え」

種イモを植える児童(上)。先生役のふるさと体験塾のメンバーによる指導も(右)

標津小学校(児童二百七十人)では、六月一日から三日にかけ、校内の菜園でジャガイモのイモ植え体験を行いました。

「総合学習」の一環で、昨年から実施。標津ふるさと体験塾のメンバーや根室支庁北根室地区農業改良普及センターの関係者が先生役となり、地ならしから始め、くわで畝を作り、肥料を施し、二十㌢間隔で種イモを植えました。

関健一郎校長は「この体験で、子供たちの気持ちが落ち着く」と目を細め、児童たちは「土が柔らかくて気持ちよかった。早くジャガイモが食べたいなあ」と笑顔で話していました。

Town News

サーモンパークを自分たちの手で魅力的に！
「体験塾」の有志がヤチブキなどを植栽

標津ふるさと体験塾(武山栄道塾長)の有志四人が五月九日、サーモンパーク内にある小川にヤチブキやクレソンを植えました。

「この小川を観光客や町民に、より親しんでもらい、潤いのあるものにしよう」と自主的な取り組み。全部で約四十株を二時間ほどかけて一株ずつ丁寧に植え(写真上)、一週間後にはヤチブキの黄色い花が咲き、小川が見違えるようになりました(同下)。

さらに、サーモン科学館周辺にコスモスの種を植える取り組みも。秋には色鮮やかな花が咲きます。

武山塾長は「『自分たちの手でやれることは自分たちでやろう』と思っての取り組み。観光客には地元の珍しい植物を見て楽しんでもらえれば」と話しています。

〈小川が…　見違えるように〉

郵便局がはまなす苑に加湿器寄贈

標津郵便局では、特別養護老人ホーム「標津はまなす苑」の入所者に快適に過ごしてもらおうと5月31日、加湿器14台を寄贈。同郵便局の朝倉勝美局長が同苑を訪れ、入所者に手渡しました。

社会貢献事業の一環として、同苑への寄贈は今回で2回目。

同苑では「有効に使わせていただきます」と感謝していました。

発電を目指す地熱開発調査実施

平成九年度から十一年度に実施された、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(通称NEDO)による地熱開発促進調査「武佐岳地域B調査」で、金山地域に高温の地熱があることが確認されたことから、発電に向けた最終調査であるC調査の実施がこのほど決定しました。

この調査は、環境にやさしい自然エネルギーを開発し利用するという目的で、地熱を利用した発電をめざすものです。調査は「妹羅山地域C—2調査」として、平成十七年度から十八年度の二カ年で実施されることになっています。実際の調査は、NEDOから委託を受けて、標津町と石油資源開発(株)、電源開発株式会社の三者が協力して実施します。

現在予想される発電規模は、二百戸程度分を賄う千キロワットというごく小規模な発電ですが、町では二年間の調査が終了した段階で、環境への影響や地熱資源量、設備投資後の採算性や持続性などを十分に検討し、発電するかどうか慎重に判断することにしています。

地熱開発促進(武佐岳地域B)調査の現場(平成十一年度)

Town News

全国大会出場 卓球

五月七、八日、千歳市で開かれた北海道卓球選手権大会で、標津小学校の細川比奈子さん(四年)、加藤愛生さん(二年)、佐藤真凛さん(一年)の三人が個人戦で活躍。七月二十九日に神戸市で開かれる全国大会への出場を決めました。

細川さんと加藤さんは、小学四年以下の部でそれぞれ三位に。佐藤さんは、同一年の部でブロック優勝。全国に向けて二人は「一つでも多く勝ちたい」と練習に熱が入っています。

本町出身 亀田くんインターハイ出場

北海道高等学校剣道選手権大会が六月十四日から十六日まで旭川市で開かれ、本町出身の東海大学第四高校二年の亀田健一郎くんが個人戦で準優勝、さらに団体戦でも要の中堅で活躍し見事優勝に導き、個人と団体でのインターハイ(全国高校総合体育大会)出場権を手に入れました。

インターハイは、八月三日から千葉県館山市で開かれ、出場に向けて亀田くんは「インターハイ出場は本当にうれしい。力いっぱい戦ってきます。自分の剣道の原点は、標津町。剣道関係者の皆さんに感謝しています」と話しています。

東北海道大会で活躍
―少林寺拳法標津支部―

五月十五日、帯広市で開かれた第十一回少林寺拳法東北海道大会で、本町から出場した北海道少林寺拳法標津支部の選手が五部門で優勝するなどの活躍を見せました。

七月二十四日に札幌市で開かれる全道大会に向けて稲村徳弥支部長は「チャレンジャー精神で頑張りたい」と意欲を燃やしています。

なお、入賞者は次のとおり(各部門三位まで)。

【小学生規定組演武】▽六級の部①今源喜・江崎奈生子②南川寿来・家政愛佳③本村琴奈・今帆奈美

【小学生単独演武】①吉田匠③長谷川隼人

【中学生単独演武】③長谷川聡美

【団体演武】▽小学生の部①小松駿、長谷川楓、佐藤祐也、吉田匠、工藤湧、畠山湧基、伊達秋広、尾形賢星▽中学生の部①稲村果歩、佐々木結、若杉敬太、住田芳樹、長沼飛吹、工藤颯太▽一般単独女子有段の部①稲村いずみ―敬称略―

教育功労で 中野さん全国表彰

このほど中野ヒロコさん(北四西二)が、教育功労表彰として全国市町村教育委員会連合会会長から表彰され、六月十五日、城地教育長から表彰状が伝達されました。

中野さんは、平成八年十一月から平成十六年二月までの八年間にわたり町教育委員として本町の教育振興のために尽力。この長年の功績が認められました。

Town News

まちづくり研究開発会議 町長に活動報告

「まちづくり研究開発会議」（菊池勝祀座長・委員三十人）は六月十三日、町政に関する提言をまとめた活動報告書を小田桐町長に手渡しました。

この会議は、平成十四年十月に発足。これまでに十四回の会議を開き、その活動状況や町政への意見などが百四ページにわたり報告書にまとめられています。

報告書を受取った小田桐町長は、「貴重な意見をいただき感謝している。これからも町政に関心を持ち続けてほしい」と話しました。

（※P10「キラリひと」参照）

ビザなし交流でロシア人来町

北方四島在住のロシア人ファミリー訪問団一行が、六月十七日から二泊四日の日程で本町を訪れました。

このうち十九日には、川北生涯学習センターで川北地区ＰＴＡ連絡協議会や地元幼稚園児や小中学生と交流。子供たちによるヨサコイ、キラリ音頭（写真）のほか、パーティー形式の昼食会などが行われ、楽しいひとときを過ごしました。

札幌で躍動の舞「標津遊舞乱（ゆうまいらん）」

六月八日から十二日まで、札幌市で開かれた「ＹＯＳＡＫＯＩソーラン祭り」。本町から今年も「遊舞乱」（波切幸代代表）が出場し、五年ぶりに地方車を出してパレードにも参加。

根室管内から出場したのは「遊舞乱」の一チーム。衣装は一水・キラリ」の一大漁」の文字を背中にあしらった法被姿で、躍動感あふれる踊りを披露。波切代表は「今年は『若い力』も加わり、思いっきり踊り、体全体で楽しむことができました」と笑顔で話しています。

標津産のサケを使った〝おかき〟好評

砂川市の大手菓子メーカー（株）ホリでは、標津の前浜で水揚げされるサケを使った「開拓おかき『秋鮭』」を開発し、同グループ会社の「北菓桜（ほっかざくら）」で四月下旬から発売しており、好評を呼んでいます。

この菓子は、サケの身を粉末にした町ふれあい加工体験センター開発のサケパウダーのほか、サケのフレーク、道内産のもち米を混ぜ合わせ、同じく標津産のブナザケで作ったさけ魚醤で味付けして揚げた、サケの旨みが溶け込んだ歯ごたえがよく香ばしいおかき。

同菓子メーカーは、新鮮で安全な道内産の食材にこだわっており、本町が取り組んでいる「地域ハサップ」を高く評価し、町や漁協・加工振興協会との協議を進める中で、この新製品の開発、販売に至りました。

現在、月間一万五千個を出荷しており、これに使われる年間の標津産サケ量は、約一万五千匹に相当。これにより、懸案だったブナザケの販路拡大の一助になると関係者は期待を寄せています。

原料のサケパウダーは町ふれあい加工体験センターが、さけ魚醤は標津漁協、サケフレークは㈱五冷フーズが、それぞれ同菓子メーカーに出荷。サケパウダーは今後、標津漁協が手がけていく予定。本格的な操業に備え、町内の水産加工業者と協議しながら生産体制を整えます。

「開拓おかき『秋鮭』」の価格は一袋（百七十グラム）三百五十円。袋には「北海道標津産サケ」と明記されています。

※「開拓おかき『秋鮭』」のご購入は「北菓桜」フリーダイヤル0120―700―752。
ホームページhttp://www.kitakaro.com/

vol. 37

ひと

菊池　勝祀さん

（北1西2）

KATSUTOSHI KIKUCHI

「まちづくりの主人公は自分たち町民」

「まちづくりの基本は、まずは町を知ること。その上で、自分たちでできることは自分たちの手でやる。この会議では、委員のそういった気運が盛り上がり、とても有意義なものになったと思っています」―。

「まちづくり研究開発会議」の座長を務めてきた菊池さん（60歳・学習塾経営）は、二年八カ月にわたる活動を振り返ります。

この会議は、行政と町民が、夢と希望のあるまちづくりを考えることなどを目的に発足。町民の自主参加を基本に、町民二十人で構成。この会議の運営の中心となり、委員のまとめ役として活躍してきた菊池さん。

これまでの活動をまとめた報告書を六月十二日、町長に手渡しました（写真）。この報告書は、委員みんなのまちづくりへの思いがいっぱいつまっています。心がこもっているんです。この報告書を多くの人に見てもらい、まちづくりの掘り起こしの材料になってもらえればと思っているんです」

「自分の仕事は子供が相手。どうしても視野が狭くなりがちです。この会議では、さまざまな年齢や職業の方々と話す中で、自分にとっても大変勉強になりました。会議を通じて、まちづくりの主人公は行政ではなく、自分たち町民であることを委員みんなが再認識したはず」

かつて青年時代に「野っ太郎さわやか集団しべつ21」のまちづくりメンバーで活動してきた菊池さん。「行政に頼る時代は終わりを告げました。これからは、自分たちの手で、どういったまちづくりをするか。今回の会議のメンバーの輪が広がっていくことがその近道だと考えています」

私が選んだお店の

イチ押し〝逸品〟③

今月の〝逸品〟推薦者

安達永補さん

（南川北）

わがまま丼

＜1000円＞

たつみ

川北　☎85-2429

▽安達さんのイチ押しコメント…

カツ丼と親子丼、エビフライ丼を一つにした名のとおり「わがまま」な、どんぶり。ボリュームがあり、酪農に従事している自分にとってのスタミナ源にもなっています。お腹も心も満たしてくれるイチ押し逸品です。

▽お店からひと言…

十年ほど前に、あるお客さんから「カツ丼、親子丼、エビフライ丼が一つのどんぶりで食べられたらいいね」と。「それは、わがままだね」と言って始めたのがこのメニュー。

このほかにも「韓流ブーム」にのって、「キムチチャーハン」や「キムチ焼きそば」も新メニューに加え、好評です。

★皆さんからの「イチ押し〝逸品〟」を募集しています。応募は企画振興課まで。

町民・オン・ステージ

My Dream vol.38
ぼ・く・の・夢

對馬明彦（つしまあきひこ）くん
（川北小6年）

「シェフになりたい」

ぼくの将来の夢は、シェフになる事です。なぜかというと、「どっちの料理ショー」というテレビ番組で料理を作っていた人のやり方がかっこよくて、ぼくもあんなふうになりたいと思ったからです。それ以来、時々チャーハンや他の料理を工夫して作り、練習をしています。

でも、シェフになるには、勉強はもちろん、修行は必ずしなくてはいけないので、すごく大変だと思います。大変でも、夢がかなうまで一生けん命がんばります。

ぼくは、もしこの夢がかなったら、総理大臣や天皇陛下が来る、大きな高級レストランを開きたいです。そして、そこにお母さんやお父さんを呼んで、ぼくの作った料理を食べてもらって、おいしいと言ってほしいです。

また、ぼくは、沖縄に行った時に、北海道とは違った料理が出てきて、とても興味を持ちました。同じ日本でもこんな違いがあるのだから、外国ではどんな料理があるのだろうと思いました。できれば、世界のいろいろな国へ行って修業してみたいと思います。

ぼくは、食べてくれた人の心に残るような、おいしい料理を作りたいです。

◇

●次号は、標津小学校の児童の「夢」を紹介します。

若さでアタック vol.38

YOUNG MAN／WOMAN

「積極的に交流を深めていきたい」

石川真美（いしかわまみ）さん
（南4西1・18歳）

標津に住み始めてからまだ地域の人と交流する機会がないので、地域活動やイベントなどに積極的に参加して交流を深めていきたいですね」

別海町出身。標津高校卒業後、今年四月から㈱五冷フーズに勤務し、主に経理事務を担当。「最初のころは水産加工に使用する『出刃』や『マキリ』など専門的な用具の名前がなかなか覚えられなくて大変でした。これからはいろんな仕事をこなせるように頑張りたいです」

趣味は、部屋の掃除。ひまさえあれば掃除をするほどのきれい好き。また、中学時代から続けているバドミントン。「週二回ほど友人と体を動かして楽しんでいます」

達者なじいちゃんばあちゃん Ji-chan Ba-chan

「仕事ができることがなにより楽しい」

林金次郎（はやしきんじろう）さん
（川北・79歳）

「シルバー勤労会では、同年代の仲間と楽しく仕事ができるのが何よりうれしいんですよ」

それまで林業に従事していた林さんは、十五年前に仕事中に足を骨折し、その後しばらく仕事ができなかった時期がありましたが、六年前に「シルバー勤労会」で仕事に復帰。「仕事ができることで、毎日がとても楽しいんです」

また、食事は何でも好き嫌いなく食べ、特に甘いものが大好き。病院の健康診断ではどこも悪いところはないそうです。

「お蔭様で、自分がこれまで元気に働いてこれたのはとても幸せなこと。これからも一日でも長く仕事を続けていきたいですね」

計画を策定しました

「標津町次世代育成支援行動計画」

計画書策定の目的と経緯

急速な少子化の進行を踏まえ、次世代を担う子供たちが健やかに生まれ育つ環境の整備を図り、その集中的、総合的な取り組みを推進するため、平成15年7月に「次世代育成支援対策法」が制定されました。

この法律により、地方公共団体（都道府県、市町村）と従業員300人以上の事業所は、平成17年3月までに国の指針に基づき「行動計画」を策定し、必要な事業を推進することが義務付けられたものです。

計画策定にあたって

事業を効果的かつ適切に推進していくために、平成15年度から小学校や就学前児童を持つ父兄などにサービスのニーズ調査や聴き取り調査を実施し、それらの意見と合わせて過疎計画や保育計画、保健活動事業計画、社会教育計画及び子供読書推進計画などとの調整を図りながら、現在取り組んでいる事業の現状や課題などを整理し、その充実強化を図ることを中心に計画を策定しました。

計　画　の　概　要

【計画策定期間】

〈前期〉平成17年度から平成21年度までの5年間

〈後期〉平成22年度から平成26年度までの5年間

【概　　要】

この計画は、これからの標津町が取り組むべき子育て支援策の方向性や目標などを定め、平成17年度を初年度とした10年間における子育て施策の総合的な計画として位置付けています。

具体的には、国が示す行動計画策定指針により、子供の視点、保護者の視点、地域の視点を基本に、次の目標と具体的施策を掲げています。

①地域における子育ての支援
・保育サービスの充実、子育て支援ネットワークづくりや児童の健全育成など

②親と子の健康確保と増進
・子供や母親の健康確保、食育の推進、思春期保健対策の充実など

③教育環境の整備
・次代の親の育成、学校の教育環境等の整備や家庭や地域の教育力の向上など

④子育てに適した生活環境の整備
・良好な住環境の整備、交通安全教育の推進や犯罪等の被害防止活動の充実など

⑤仕事と家庭生活との両立
・男性を含めた働き方の見直しと多様な働き方の実現など

⑥支援を必要とする児童への取り組みの推進
・児童虐待防止対策の充実、母子家庭等の自立支援の推進や障害児施策の充実など

～以上の基本目標と基本施策を体系化し、現在本町が取り組んでいる保健、福祉保育や社会教育に及ぶ56項目の個別事業について整理し、今後もそれらの事業の充実強化、発展に主眼を置いた行動計画として策定しました。

なお、この計画は10年間の長期的計画となることから随時見直しし、必要な事業についてはこの計画に加え、また、事業の実施にあたっては町民の意見を反映しながら取り組むこととしています。

★本計画についてのお問い合わせは、福祉課（担当：滝本）まで。

7月の健康相談日程

●乳幼児相談
22日(金)
〔9時～10時・13時30分～14時30分／ひまわり〕
※午前の部～13ヵ月児　午後の部～4・7・10ヵ月児対象

●2歳児相談
22日(金)
〔9時～10時／ひまわり〕
※その他の健診・相談は個人に通知します。

★お問い合わせは、保健福祉センター「ひまわり」（☎82－1515）まで。

町長の動静

（5月21日～6月20日）

【5月22日】
しべつ活々ホタテまつり

【5月24日】
道漁業信用基金協会理事会（札幌市）

【5月26日】
道さけ・ます増殖事業協会総会(札幌市)

【5月27日】
根室中標津空港ビル株取締役会（中標津町）

【5月31日】
道市町村職員共済組合組合会（札幌市）

【6月1日】
「分権改革日本」実現全国大会（東京都）

【6月3日】
根室地方総合開発期成会総会ほか（根室市）

【6月7日】
第2回標津町議会定例会

【6月9日】
道海岸農地保全対策事業促進協会役員会及び総会（札幌市）

【6月13日】
まちづくり研究開発会議最終報告

【6月19日】
北方四島ロシア人ファミリー訪問団との夕食交流会

〈以上主なもの〉

町農業委員会委員選挙が実施されます

■投　票　日　**7月10日(日)** 午前**7時**～午後**6時**（告示日 7月5日(火)）

※投票の際には入場券（はがき）を必ず持参し、入場券に記載された投票所で投票を行ってください。

※投票できるのは、選挙人名簿に登載された農業者のみです。

■期日前投票　選挙当日に投票に行けない場合。

▷期　　間　7月6日(水)～7月9日(土)　午前8時30分～午後8時

▷場　　所　期日前投票所（役場1階会議室）

～町選挙管理委員会（総務課内　担当：星、門脇、西山）～

国民年金・社会保険事務所相談開設日(7月)

■日　　時　**7月21日(木)・7月22日(金)**

21日／午後1時～午後5時

22日／午前9時～午前11時30分

■場　　所　中標津経済センター

※年金番号、加入期間などを確認のうえお越しください。

2005　新市町村振興宝くじ

サマージャンボ宝くじ

（1等・前後賞合わせて3億円）

■発売期間　**7月15日(金)～8月2日(火)**

■抽 選 日　**8月12日(金)**

この宝くじの収益金は、市町村の明るく住みよい街づくりに使われます。

7月のごみ収集日

一般廃棄物収集区域（祭日は休みです）〈有料〉	可燃ごみ	不燃ごみ 粗大ごみ	資源ごみ 空缶・びん・ペットボトル・トレー・新聞・雑誌	資源ごみ 容器包装(紙)・容器包装(プラ)・紙パック・段ボール
川北市街・伊茶仁・忠類・浜古多糠・薫別・崎無異・古多糠	水・土	9日(土) 23日(土)	6日(水) 20日(水)	13日(水) 27日(水)
新川上町・若草町・川上町・栄町・緑町・弥栄町・曙町	月・木	7日(木) 21日(木)	4日(月)	11日(月) 25日(月)
本町・鳩ヶ丘町・双葉町・望ヶ丘町・桜木町・住吉町・東浜町	火・金	8日(金) 22日(金)	5日(火) 19日(火)	12日(火) 26日(火)

★ごみは指定された日に指定された場所へきちんと出しましょう。

スポーツ

☆7月のスポーツ☆

■2日(土)
管内中体連バドミントン大会
〔9時～総合体育館〕

■3日(日)
第14回町民ソフトバレーボール大会
〔9時30分～総合体育館〕
国体野球一般Bの部町内大会
〔8時～町営球場〕

■5日(火)
第20回体育協会長杯ゲートボール大会
〔9時～ひまわり〕

■6日～20日までの毎週水・金曜日
夜の水中ウォーキング
〔19時～町営プール〕

■10日(日)
東日本野球大会2部町内大会
〔8時～町営球場〕

■14日(木)
管内身障者スポーツ大会
〔10時～総合体育館〕

■16日(土)
太陽グループ杯少年新人戦野球町内大会
〔10時～町営球場〕

■16日(土)・17日(日)
国体バレーボール6人制北海道大会
〔～総合体育館〕

■17日(日)
国体野球一般Bの部支部大会
〔8時～町営球場〕

■24日(日)
管内親睦ソフトバレーボール大会
〔9時～総合体育館〕
東日本野球大会1部支部大会
〔8時～総合体育館〕
第3回町民パークゴルフ大会
〔9時～川北パークゴルフ場〕

■26日(火)
スポーツクラブスポーツ体験（水泳）教室
〔14時～町営プール〕

交通安全・防犯

「防火管理者講習(甲種)」実施します

■日　程
7月26日(火)～27日(水)
※時間は両日とも9時30分から
■場　所　中標津消防署
■対象者
防火管理義務の対象となる建物に居住または勤務し、防火管理者として選任される予定の方
■講習料金　6,000円
■申込期限　7月20日(水)
※申込書は、根室北部消防事務組合消防本部、標津消防署で配布または日本消防協会IIP（http://www.n bouka.or.jp/）からダウンロードできます。
★申込み・お問い合わせは、(社)北海道消防設備協会（☎011-205-5951）まで。

花火をするときの注意事項

■火薬を使用しており危険のため、取扱方法を守りましょう。
■火薬をほぐしたりポケットに入れたりしない。
■花火を人や家などに向けて遊ばない。
■たくさんの花火に一度に火をつけない。
■風の強い日には花火をしない。
■筒物花火の場合は、筒の中をのぞかない。
■衣服に火が付かないように注意する。
■消火用水（水バケツ）を用意し、必ず火を消すとともに、後片付けを必ずする。
■花火のごみは必ず持ち帰る。

－標津消防署－

始まります「夏の交通安全運動」

■日　時
7月15日(金)～7月24日(日)
■重　点
・道路横断中における子供と高齢者の交通事故の防止
・二輪車事故防止を重点とした安全利用の推進
・シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

－中標津警察署・住民課－

環境衛生

し尿の汲み取りの申込みは忘れずに

8月のし尿の汲み取り実施地域は次のとおりです。汲み取りを希望される方は忘れずにお申込みください。

■汲み取り実施地域
伊茶仁、忠類、浜古多糠、薫別、崎無異
■申込期限　7月25日(月)
★申込み・お問い合わせは、住民課（担当：小野瀬、吉田）まで。

郵便局

全国各地の旬の味を楽しんでみませんか

郵便局では、全国各地の旬の味を毎月お届けする「北海道グルメ会」の会員を募集しています。

お届け期間は、10月から1年間で、ご自宅はもとよりご指定先へお届けすることもできますので、ご中元やお歳暮としての利用にも大変便利です。この機会にぜひご利用ください。

★お問い合わせは、お近くの郵便局まで。

戸籍の窓口から

（5月11日～6月10日届出分）

■ご結婚おめでとう

小田　貴樹さん・松本　琴美さん（寿　町）

■お誕生おめでとう

		〈保護者〉
西山　凜（りん）ちゃん	（若草町）	易男・亜美
朝倉　将斗（まさと）くん	（望ヶ丘町）	一正・幸子
金丸　梨杏（りあん）ちゃん	（弥栄町）	真・志野
佐藤　来信（らいしん）くん	（西古多糠）	哲也・加奈子
橋場こころちゃん	（緑ヶ丘パイロット）	農・明美
戸田　月乃（つきの）ちゃん	（緑　町）	浩伸・由加里
大石　琢人（たくと）くん	（茶志骨）	篤・真純

■おくやみ申し上げます

中山哲夫さん	（北川北）	73歳
天童　倉さん	（新川上町）	91歳
大西勇三さん	（弥栄町）	73歳

（※ご家族の了承を得て掲載しています。）

寄付・寄贈ありがとうございました

●緑の基金として町に―
・帯広地方国有林採石協会

●町社会福祉協議会に――
・武山　利博さん
・聖友標津支所
・坂部登志彦さん

●はまなす苑に――
・浅井耕一朗さん（中標津町）
・佐藤　正勝さん
・川畑　久江さん
・郡司　禮子さん（別海町）
・ジブラルタ生命（中標津町）

（※ご本人の了承を得て掲載しています。）

国勢調査が10月1日に実施されます

今年10月1日を調査期日として、全国一斉に「平成17年国勢調査」が実施されます。

調査は、住民基本台帳に関係なく町内に在住するすべての方が対象となることから、本町では、6月1日付けで『標津町実施本部』を設置し（写真）、調査の万全を期すための準備を進めています。

国勢調査は、5年ごとに実施しており、国や道、町の施策やまちづくりなどの基礎資料を得るための大切な調査で、調査項目は、世帯員数、住居の種類、住宅の建て方、就業状態、通勤・通学地など17項目。町内を61調査区に分け、町の推薦に基づき総務大臣から任命された調査員59人が、調査票の配布や回収を行うため、9月下旬から各家庭をお伺いします。

記入された調査票の内容は、他に漏れたり統計以外の目的に使用されることは絶対にありません。

町民皆さんのご理解とご協力をお願いします。

―実施本部（企画振興課内　担当：畑中、阿部）―

募集

ロシア人青少年と交流してみませんか

■日　程
7月18日(月)
午前11時頃～夕方まで（4～5時間）

■内　容
ロシア人青少年（2～4人）と昼食を取りながら家族や標津の子供たちと交流します。

■募集家庭　3～5家庭

■申込期限　7月5日(火)

★申込み・お問い合わせは、総務課（担当：星、西山）まで。

自衛官を募集

■募集種目・対象者
▷航空学生…
高卒（見込含む）以上21歳未満
▷一般曹候補学生…
18歳以上24歳未満
▷曹候補士・2等陸・海・空士…
18歳以上27歳未満

■募集期間
8月1日～9月8日（2等陸・海・空士(男子)は年間を通じて募集）

★申込み・お問い合わせは、中標津募集事務所（☎0153-72-0120）まで。

イベント

分屯地を開放します

陸上自衛隊標津分屯地では、創立48周年記念として、分屯地内を開放します。

■日　時
7月10日(日)
午前10時～午後2時

■内　容
・装備品展示
・オートバイドリル
・ジープ試乗会
・模擬売店　など

※同隊による町内循環バスを運行します。

※詳しくは、今後チラシやポスターでお知らせします。

―陸上自衛隊標津分屯地―

保健

「いきいきヘルシー教室」で健康的な食生活を

町では、「脳の血管を守るための食生活」についての講座を実施します。

■日　程
▷1回目
・日時　7月13日(水)
・内容　栄養に関する講話
▷2回目
・日時　7月20日(水)
・内容　調理実習、試食

※時間は、両日とも午後1時30分～午後3時30分まで。

■場　所　ひまわり

■定　員　20人

■申込期限　7月6日(水)

※定員になり次第締切りします。

★申込み・お問い合わせは、ひまわり（☎82-1515　担当：佐伯）まで。

まちの声…

227

「水道水について」

野口 剛志さん Tsuyoshi Noguchi
川北共栄旭町（川北郵便局勤務）

日々、日常生活をしていく中で一番使用するものはなにかと考えると、それは水道水ではないだろうかと私は思います。

標津町の水道水について思うことは、臭気や濁りもなく清涼感があり、とてもおいしいということです。その飲んでおいしい水を炊事や洗濯などに使用していること自体が大変幸せなことではないでしょうか。

高校を卒業してから二年間ほど札幌市へと進学し、その札幌市に住み始めて大変驚いたことがあります。それは標津町との水道水の違いについてでした。当初は、水道水を飲んでいましたが田舎育ちの私には味や濁りに違和感があり、また、体調の面でもお腹の調子が悪くなったりし、それ以後はミネラルウォーターを買って飲んでいました。標津町では、よく水道水をガブ飲みしていた私でしたが、水を買うなんて思ってもみなかったことで、なぜ札幌市のスーパーなどのお店にはミネラルウォーターの種類や品揃えが良いのか妙に納得した当時の記憶があります。

景色がきれい、海産物がおいしいなど、標津町の自慢ってたくさんありますよね？安全性があり飲んでおいしい水道水があるというのも自慢の一つではないかと私は思います。

標津町の水道水は、なぜ、おいしいのか考えてみると、水道水のもととなる緑豊かな森林が多くあり、その森林によってもたらされる、汚染とは無縁なきれいな川の水源があるからだと思います。普段、この水道水を飲むばかりではなく、他の日常生活でも使用できることに感謝するとともに、いつまでも今と変わらず、安全性があり、おいしい水道水であって欲しいと願っています。

▽次の「まちの声」は、納（おさ）雄一さん（南5西1）です。

編集のまど

▽小田桐町長が退任。長い間、本当に「お疲れさまでした」。さびしい気持ちですが、これからは新町長のもとで心を新たに頑張ります。▽ところで、P2の町長退任の記事で、「お疲れさまでした」と見出しに。実は原稿作成当初は「ご苦労さまでした」に。調べてみて、「目上の人に労をねぎらう」ことは元々、日本語では失礼にあたるという。「ご苦労さまでした」は使ってはいけないと。▽今日、一般的に使ってよいとされているのは「お疲れさまでした」。正解は「ありがとうございました」というが、これでは何か気持ちが入っていないように思い、「お疲れさまでした」に。日本語って難しいですね。（H）

▽北方四島在住ロシア人ファミリー訪問団の受入れで、川北地区での住民対話集会を取材。アトラクションや交流パーティーなど、PTAの方々や幼・小中学生など、地域が一体となっての一生懸命な歓迎ぶりに、とても素晴らしい取り組みだと感じました。ロシア人訪問団も、大人も子供も楽しそうな顔を見せ、一生心に残る訪問になったのではないでしょうか。▽このような活動を地道に続けていくことで、北方領土問題をもっと考えていく機運になっていければと考えます。（A）

☆標津町民憲章☆

（昭和46年11月3日制定）

◇健康で働き楽しい家庭をつくりましょう。
◇自然を愛し美しい郷土をつくりましょう。
◇たがいに助け合い暖かい社会をつくりましょう。
◇心を豊かにし文化を高めましょう。
◇子どもの夢を育て平和な町をつくりましょう。

8月の運転免許更新時講習会

優良運転者で、更新手続きを終了した方のみ受講できます。

■日　時　8月2日(火)13時30分～
■場　所　あすばる
★お問い合わせは、住民課まで。

町内の交通事故

◇平成17年7月1日～7月31日まで（　）は累計

・人身事故	0件	(5)
・負傷者	0人	(7)
・死亡者	0人	(1)
・物損事故	5件	(60)

人のうごき

◇平成17年7月1日現在（　）は前月比

・人口	6,195人	(+12)
・男	3,018人	(+3)
・女	3,177人	(+9)
・世帯数	2,373世帯	(−1)

発行日／毎月1日　編集・発行／標津町役場 企画振興課（広報統計担当）
〒086-1632 北海道標津郡標津町北2条西1丁目1番3号　TEL 0153-82-2131・FAX 82-3011